



ANALISIS PEMBENTUKAN MAKNA PADA FUKUGOUDOUSHI ~DASU (複合動詞「出す」の意味の形成の分析)

Amalina[✉]

Jurusan Bahasa dan Sastra Asing, Fakultas Bahasa dan Seni, Universitas Negeri Semarang,
Indonesia

Info Artikel

Sejarah Artikel:

Diterima April 2013
Disetujui April 2013
Dipublikasikan April
2013

Keywords:

*Pembentukan, Makna,
fukugoudoushi, dasu*

Abstrak

Doushi merupakan salah satu kelas kata yang dapat berdiri sendiri dan bisa menjadi kalimat tanpa bantuan kelas kata lain. Diantara jenis-jenis *doushi* yang ada salah satunya yaitu *fukugoudoushi* atau kata kerja majemuk. Salah satu *fukugoudoushi* yang sering ditemui yaitu *fukugoudoushi* yang berakhiran ~*dasu*. Dalam memahami suatu kalimat, tentunya harus memahami juga makna kata yang terdapat dalam kalimat tersebut. Makna yang ditimbulkan oleh verba *dasu* dapat beragam dalam *fukugoudoushi* ~*dasu*, sehingga menjadi salah satu kendala dalam memahami kalimat. Penelitian deskriptif ini dilakukan untuk: 1) mendeskripsikan makna yang dimiliki *fukugoudoushi* ~*dasu*, 2) menjabarkan pembentukan kata *fukugoudoushi* ~*dasu*. Pendekatan penelitian yang digunakan yaitu pendekatan deskriptif kualitatif. Dengan cara menjelaskan hasil analisis yang didasarkan pada metode telaah pustaka. Sumber data yang digunakan terdiri dari tiga macam yaitu *kyoukasho*, *shousetsu* dan *ehon*, karena keberagaman bahasa yang digunakan. Objek yang digunakan yaitu kalimat yang terdapat *fukugoudoushi* ~*dasu*. Teknik pengumpulan data dalam penelitian ini dilakukan dengan teknik pustaka, yaitu mendata kalimat-kalimat yang mengandung *fukugoudoushi* ~*dasu*. Teknik analisis yang digunakan dalam penelitian ini adalah metode padan translasional dan padan ortografis untuk menganalisis makna dan mengklasifikasikan objek penelitian. Langkah-langkah analisis data dalam penelitian ini adalah: 1) menyajikan kalimat yang mengandung *fukugoudoushi* ~*dasu*, 2) menganalisis makna yang diikuti oleh verba ketika berdiri sendiri dan ketika disatukan, 3) menganalisis pembentukan kata pada *fukugoudoushi* ~*dasu*. Hasil analisis menunjukkan makna *fukugoudoushi* ~*dasu* antara lain: 1) perpindahan dari dalam ke luar, 2) awal dimulainya suatu aktivitas, 3) perwujudan dari sesuatu yang tidak kasat mata, 4) menciptakan, 5) penemuan. *Fukugoudoushi* ~*dasu* yang ditemukan dalam sumber data seluruhnya terbentuk dari penggabungan antara verba dan verba.

© 2013 Universitas Negeri Semarang

[✉] Alamat korespondensi:

Gedung B4 Lantai 1 FBS Unnes
Kampus Sekaran, Gunungpati, Semarang, 50229
E-mail: pbjunnes@gmail.com

背景

文法的に日本語の言葉の品詞の分類は十に分けり、それは動詞、形容詞、形容動詞、名詞、福祉、連体詞、感動詞、接続詞、助動詞、助詞である。動詞は述語として機能することができて、他の機能は形が変われると特定の状況が追加の言葉せずに文章を形成することができる。

動詞の種類がたくさんあって、一つのは複合動詞である。よく見つけた複合動詞の一つは「出す」です。たとえば「引き出す」であって、「引く」と「出す」から形成される。「出す」の意味は中から外に移し、「移動」を表すものである。「出す」の意味は前の動詞が影響することができる。

外国語の学生として、文章を理解するのがよく困難で、特に文章の中に複合動詞があるから。動詞の意味が変更するにしたがって文脈で、形成動詞と関連することができるまたはよく異なる。そのような理由によって、複合動詞「出す」の意味の形成を研究する。

基本的な理論

a. 語彙

松村(1998:429)によると「語彙はある言葉でもちられる語の全体。また、ある人、領域の持ちいる語の全体。ボキャブラリー。」と述べている。

b. 複合語

水谷(2005:68)「複合とは自立語の2語彙以上の合成を言う」と述べている。複合語の種類には複合名詞、複合動詞、複合形容詞、複合福祉がある。

c. 動詞

動詞とは活動や存在やある物の状況を表す自立語。変更されて、それだけで文章で述語になることができる(野村, 1992:158)。清水(2004:45)動詞の種類は三つに分ける。それは自動詞、他動詞、初動詞がある。

d. 複合動詞

寺田(1984:80)によると、「複合動詞は二つ以上の語合併からである。その合併なった動詞である」という。

e. ~出す

法元(2010:587)によると、「移動」と「開始」を表すものは、複合動詞「~出す」のほかの意味は「顕在化」「製造する」「発見」がある。

研究の方法

a. 研究のアプローチ

この研究のアプローチは記述的質的である。

b. データ出所

この研究のデータ出所は教科書や小説や絵本などがある。

c. データの対象

この研究のデータの対象「出す」という書いてある文章。

d. データを集める方法

この研究のデータを集める方法は記述された出所を記録する。

e. 研究の方法

この研究の方法が五つあって、それは：

- 1) 研究の対象を決める。「出す」という複合動詞である。
- 2) 文献を探し、研究する。
- 3) データに書いてある研究対象を集める。
- 4) 集めた「出す」の複合動詞の意味と形成を分析する。
- 5) 分析したものを結論する。

研究の結果

分析したによって、研究の結果には：

a. 複合動詞「出す」の意味

1) 移動を表すもの(外へ)

データに書いてある「吐き出す」「追い出す」「取り出す」「逃げ出す」「飛び出す」など「移動」を表すものがある。

2) 開始を表すもの

データに書いてある「ふるえ出す」「泣き出す」「笑い出す」「怒鳴り出す」など「開始」を表すものがある。

3) 目に見えない何かの顕在化

データに書いてある「思い出す」など「顕在化」を表すものがある。

4) 製造する

データに書いてある「作り出す」「生み出す」など「製造する」を表すものがある。

5) 発見する

データに書いてある「聞き出す」「見出す」など「発見する」を表すものがある。

b. 複合動詞「出す」の形成

データには複合動詞「出す」ある文章が六十五つある。そのような複合動詞は二つの動詞から合併である。合併のは他動詞と他動詞や自動詞と他動詞などで、「出す」は他動詞として、前の動詞は「～ます」連用形をした。

結論

研究の結果によって、結論は：

a. 複合動詞「出す」の表す意味

- 1) 「移動」を表すものである。たとえば：「吐き出す」
- 2) 「開始」を表すものである。たとえば：「ふるえ出す」
- 3) 「顕在化」を表すものである。たとえば：「思い出す」
- 4) 「製造する」を表すものである。たとえば：「作り出す」
- 5) 「発見する」を表すものである。たとえば：「聞き出す」

b. 複合動詞「出す」の形成は二つの動詞から合併である。合併のは他動詞と他動詞や自動詞と他動詞などである。

DAFTAR PUSTAKA

- Kesuma, Tri Mastoyo Jati.2007. *Pengantar (Metode) Penelitian Bahasa*. Jakarta: Carasvatibooks.
- Sudjianto dan Dahidi, Ahmad.2004. *Pengantar Linguistik Bahasa Jepang*. Jakarta: Kesaint Blanc.
- Sutedi, Dedi.2009. *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora.
- Hayashi, Ooki.1990. *Nihongo Kyouiku Handobukku*. Toukyou: Daishukan Shoten.
- Yoshiyuki, Morita.1990. *Nihongogaku to Nihongokyouiku*. Jepang: Bojinsha.
- Norimoto, Teruyama. *Nihongo Kyouiku ni okeru Fukugoudoushi no Taiteteki na Shidou Gakushuu ni Mukeru*. (2010: 587-588)
- Matsumura,dkk. 1998. *Kokugo Jiten*. Jepang: Obunsha.
- Mizutani,dkk. 2005. *Shinpan Nihongo Kyouiku Jiten*. Jepang: Taishukan Shoten.
- Nomoto, Kikuo. 1988. *Kiso Nihongo Katsuyo Jiten*. Jepang: Kokuritsu Kokugo Kenkyuujo.